

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	電磁気学第一演習		
英文授業科目名	Exercises Electromagnetism I		
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	上 芳夫		
居室	西2-709		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
電磁気学第一と並行して授業を進める。基本的には電磁気学第一での理論解説をどのように実際問題に適用するかを例題解説と演習を主とする。そのため電磁気学第一と電磁気学演習第一とは同じクラス編成の授業を受講しなければならない。

【前もって履修しておくべき科目】
微分積分学第一、微分積分学第二、線形代数学第一、力学第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
線形代数学第二、解析学、基礎科学実験A、数学演習第一、数学演習第二

【教科書等】
(例)
教科書：奥澤隆志編著「電磁気学」近代科学社

電気通信大学 平成18年度シラバス

参考書：渡辺征夫・青柳晃共著「工科の物理3 電磁気学」培風館

藤田広一・野口晃共著「電磁気学演習ノート」コロナ社

【授業内容とその進め方】

授業内容は電磁気学第一と同じである。

適宜、小テストや演習宿題(レポート)を課す。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

電磁気学第一の評価に演習の評価を上乗せして評価する。レポート提出が2/3に満たない場合は、不可となる。電磁気学第一が不可の場合も連動して電磁気学演習第一も不可となる。

【オフィスアワー：授業相談】

事前に電子メールでアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

電磁気学を面白くするには、演習問題をたくさん解くことである。そうすることが、よく電気現象を理解することであり、論理的に物事を考えることが出来るようになる方法でもある。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【その他】